

平成23年度事務事業評価シート(平成22年度分)

予算科目	会計	一般会計	001	款	10	項	01	目	03
事務事業名	心ふれあうさわやか大仙事業								
担当部署	教育指導部教育指導課	2702000	電話	0187-63-1111			内線	340	

◆事務事業の位置づけ

総合計画の体系	施策の柱	02:未来を創り心豊かな人を育むまちづくり
	施策の大綱	01:学校教育の充実
	施策	01:学校教育の充実
	施策の内容	02:学校教育の充実
根拠法令等		

◆計画Plan

事業の目的 (何のためにこの事業を行うのか)	子ども達の望ましい生活習慣や学習習慣の定着、向上を図りながら、大仙市の小・中学生であるという一体感をもたせ、子ども達の発想を生かしてよりよい地域・大仙市を築いていくことに貢献する。
事業の対象 (事業の対象となる人、物など)	大仙市内全小・中学校、市民
事業の内容 (具体的にどのような活動をするのか)	全中学校の代表者が出席する「大仙市中学生サミット」を開催し、毎回その年度の共通テーマを設定する。エコ活動であったり、あいさつ運動であったり、それについて、具体的活動内容を設定し、全小・中学校が足並みをそろえて実践していく。併せて、ポスターを掲示するなど地域へ積極的に情報発信し、地域との絆を深めながら本事業の定着を図っていく。
事業の成果 (どのような成果を期待するのか)	市内全小・中学校が同じ目標に向かって一斉に取り組んだりそのことを情報発信したりすることを通して、学校、家庭、地域住民が一体感をもってよりよい地域づくりがすすめられる。

◆実施Do

項目	名称	単位	平成20年度	平成21年度	平成22年度
活動結果 (事業の活動量を測る)	① 大仙市中学生サミット	回	4	2	2
	② 啓発用ポスター作成	回	4	1	1
	③				
成果 (事業の成果を測る)	① テーマ実践校	校	38	38	38
	② ポスター配布箇所	箇所	481	481	467
	③				
投入コスト	決算額		439千円	100千円	169千円
		一般財源	439千円	100千円	169千円
	人件費		1,427千円	1,409千円	1,426千円
		一般職員の年間従事人数	0.2人	0.2人	0.2人
		一般職員以外の年間従事人数			
	総コスト	(決算額+人件費)	1,866千円	1,509千円	1,595千円

事業を取り巻く環境	平成17年度に8市町村が合併し、大仙市が誕生したが、子ども達に大仙市の小・中学生であるという一体感をもたせ、子ども達の発想を生かしたよりよい地域・大仙市を築いていくことに貢献しようと平成19年度からスタートした事業である。小・中学生や地域にも浸透してきており、サミットの回数が減っても十分な意識付けができています。
-----------	---

◆評価Check

評価項目		評価	
必要性	①【市民ニーズ】 事業を取り巻く環境の変化等により、事業に対するニーズが薄れていませんか	A 薄れていない B 薄れている	A
	②【市が実施する必要性】 市が実施主体となってこの事業を行うことは妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	③【計画上の位置づけ】 施策を達成するための手段として妥当ですか	A 妥当である B 妥当でない	A
	評価の理由	合併して6年になるが、大仙市12校がすべて1つのチームであるという一体感を持たせ、生徒の自主性を生かし「大仙“絆”プロジェクト」を進めることで、子ども主体でよりよい大仙市を築いていこうとするこの事業は必要である。	
有効性	①【成果】 活動結果に対し事業の成果は順調に上がっていますか	A 上がっている B 上がっていない	A
	②【活動内容見直しの余地】 事業の成果をさらに向上させるため、事業内容に見直しの余地がありますか	A 余地はない B 余地はある	B
	評価の理由	子ども達のあいさつ運動やボランティア活動は、地域住民にも浸透してきている。さらに、中学生サミットへ小学生も参加することで、小・中学生の連携が図られる。そして子ども達から望ましい大仙市を創造する営みが、地域に活力を与えている点で成果は大きい。	
効率性	①【民間の活用】 指定管理者制度を含む民間委託等により、コスト削減できませんか	A できない B できる C 指定管理導入中	A
	②【他事業との統合・連携】 他の類似事業との整理統合や、関連事業との連携は可能ですか	A できない B 可能である	A
	③【人件費の圧縮】 適正な人員配置(従事職員数、臨時雇用等)により、人件費を削減できますか	A 削減できない B 削減できる	A
	④【コストの縮減】 上記以外の方法で、事業の成果を維持しながらコストの削減、またはコストを増加させずに事業の成果を上げることはできませんか	A できない B できる	A
	評価の理由	子ども達の教育の一環であり、民間委託等できる内容ではない。また、臨時職員が従事するような内容でもない。コスト面においては、メールでの発信等により、経費の節減はできる。	

◆改善Action

総合評価 (今後の方向性)	A 現状のまま継続 B 改善しながら継続	評価の理由 今後の改善策等(いつ、何を、どのように)
改善	C 拡大 D 縮小 E 廃止 F 終了	中学生サミットの「あいさつ運動」や「REVO(リサイクル・エコ・ボランティア)プロジェクト」が定着してきており、今後は小学生サミット等の立ち上げも考慮の上、開催時期や規模、テーマ等も含め、改善しながら継続できるように努めたい。